

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

演習課題の成果物について、以下のチェックポイントに従い、自己チェックをしてください。
自己チェックをした後、成果物の自己添削（修正）を行い、このシートと自己添削後の成果物を再提出してください。

■ユースケース図

No	チェックポイント	チェック
1	「対象業務とシステム化範囲.」にある「3 情報システム化後の業務概要」を意識して作成した。	
2	アクターがもれなく抽出できている 調達業務関連 調達担当 四半期末精算業務関連 発注担当 経理システム 経理担当	
3	ユースケースがもれなく抽出できている 調達業務関連 調達内容を記録する 納品完了の記録をする 四半期末精算業務 四半期末請求を登録する 支払いを依頼する 支払い済みにする	
4	アクターとユースケースの関連が合っている。	
5	「3 情報システム化後の業務概要」を読み返し、内容の対応がとれていることを認識した。	

■ユースケース記述

No	チェックポイント	チェック
1	「対象業務とシステム化範囲.」の「3 情報システム化後の業務概要」を意識して作成した。	
2	ユースケース図にあげたユースケースに対し、もれなく記述が行われている。	
3	概要については、「対象業務とシステム化範囲.」の「3 情報システム化後の業務概要」との矛盾が無い。	
4	事前条件については、ユースケースの時間的流れを意識して、適切な内容が設定されている。	
5	事後条件については、「対象業務とシステム化範囲.」の「3 情報システム化後の業務概要」との矛盾が無い。	
6	基本フローについては、主たる情報入力内容が把握された記述がされている。(対象業務とシステム化範囲.」の「3 情報システム化後の業務概要」に各ユースケースに対応する入力内容が整理されている。)	
7	「3 情報システム化後の業務概要」を読み返し、内容の対応がとれていることを認識した。	